

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ〜す
<https://japan.otakaranews.com>

じゃぱんお宝にゅ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

SUGINO スギノマシン・CENIT AG OEM契約締結

ドイツの3DシミュレーションソフトウェアCENIT AG 9日(水)、JIMTOF2022スギノマシンブースで調印式

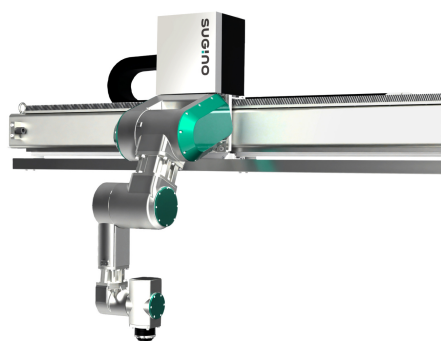
顧客に適した自動化ソリューション提案

スギノマシン(富山県滑川市、社長：杉野 良暁氏)は11月9日(水)、3Dシミュレーションソフトウェアの開発・販売を行うドイツのCENIT AG(セニット社)とOEM契約を締結、東京ビッグサイトで開催中の「JIMTOF2022」スギノマシンブースにおいて関係者による調印式が執り行われた。

スギノマシンは今後、“スギノマシンブランド”でオフラインシミュレーションや試運転が可能なシミュレーションソフトウェアを販売する計画。

11月9日、JIMTOF2022スギノブースで調印式

11月9日(水)13時、スギノマシンブースで執り行われた調印式には、CENIT AG Peter Schneck Chief Executive Officer(CEO) CENIT AG Michael DENGLER Senior Vice President(副社長)をはじめ、セニット・ジャパン株式会社代表取締役 東 良昭氏、株式会社スギ



スギノマシン 副社長執行役員 杉野 岳氏、

ハード&ソフト 付加価値の高い 自動化を提案

株式会社スギノマシン 執行役員 RI 事業部長 大西 武夫氏が出席。調印式では、CENIT AG のCEO、Peter Schneck氏とスギノマシン副社長の杉野 岳氏が握手を交わし、今後の協業体制への期待や、ロボットをはじめとする自動化ソリューションに関する意気込みを語り合った。

今回、OEM供給契約を結んだCENIT AGは、1988年に設立し、ドイツのStuttgartに本社を置き、3Dシミュレーションソフトウェア「fastSUITE」シリーズなどの開発・販売・サポートを



行っている。

一方、スギノマシンは、本サイト11月1日(じゃぱんお宝WEB新聞)既報の「スギノマシン 自動化コンサルティングサービス開始」を、CENIT AGの3Dシミュレーションソフトウェア「fastSUITE」を活用し、オフラインシミュレーションやパチャル試運転など顧客に最適な生産ラインの自動化支援サービスを開始するなど、顧客に最適な工作機械やロボットの自動化に向けたコンサルティングサービスをスタートしている。

現在、開催中のJIMTOF2022スギノマシンブースでも、自社開発・製造する産業用ロボットCRb(コネクテッドロボット)シリーズの新製品として、新たにローダー型(5軸)ロボットを開発するなど、付加価値の高い自動化提案を実施している。脱酸素社会の実現に向けた取り組みやSDGsの推進など、モノづくり企業においては乗り越

えなければならない課題が山積する。製造業のモノづくりにおける高精度化と生産性向上が求められる一方、人手不足も深刻な問題となっている。こうした現状下、製造業が高精度なモノづくりを維持、継続、発展させるためにはもはや生産ラインの自動化が不可欠になっている。

スギノマシン 今後の取り組み

スギノマシンは、様々な事業を通して独自の製品を市場供給する傍ら、顧客が抱える課題解決に向けた生産ラインの自動化コンサルティングを通し、顧客に適した付加価値の高いソリューションをトータルで提案していく。

(※資料提供：スギノマシン)



■特設サイトおよび申し込みフォーム→ <https://www.sugino.com/site/support/jimtof2022seminar.html>
 ■ローダー型(5軸)ロボット「CRb020H5」の詳細→ <https://www.sugino.com/site/robot/>
 ■スギノマシンJIMTOF2022出展ページ→ <https://www.sugino.com/soshiki/1/jimtof2022.html>
 ■スギノマシンURL→ <https://www.sugino.com/>